

## 2019年度 聖学院大学総合研究所 子どものころと絵本研究主催 絵本ワークショップ「絵本をからだで感じてみる」

講師：春木豊



講師：春木豊特任講師

2019年12月7日、聖学院大学4402教室にて、絵本研究ワークショップ「絵本をからだで感じてみる」を開催した。寒空のもと、絵本に関心のある子どもと大人、35名の参加者に恵まれた。

講師の春木豊氏（本学特任講師）は、特別支援教育に携わり、肢体不自由・「自分の思うように動かないからだ」の子どもたちとかかわるなかで、からだを考えている。体は骨格や筋肉などで構成された体形にあり、身体は体と心との二元に捉えられる。けれども、からだは体と心の不可分な一体感にあり、操作の対象として捉えきれない。

絵本をからだで感じる。身体を動かして絵本の人物と同じポーズをとる身体表現で終結しない。触れあいにも共鳴して自然に揺れ動いてくるからだの実感、からだの内奥から感動の息づかいが声になってくる「わたし」の実感が大切にされた。

『だるまさんと』（かがくいひろし作、ブロンズ新社、2009年）を読みあう。作者かがくいひろし（1955-2009）は、特別支援学校の教員だった。作家活動はわずか4年、16作品がある（うち1作は死後に出版）。絵本制作のもとには、彼が「人形ヴォードヴィル」と呼ぶ、ストーリーのない、音と動きによる自作の人形劇があった<sup>1)</sup>。

『だるまさんと』は、助詞「と」が要である。ページを繰るタイミングであり、あなたとわたしが出

会って仲間に生る「間」である。「い・ち・ご・さ・ん」と呼ばれて、「いちごさん」が歩いてくる。繰り返えされる一音一步の登場。からだは左右に大きく揺れて交互に地を踏む。この息づかいが四肢を踏むからだに重なることを、春木氏は示した。祝福の大地踏みは、幼い子が歩む喜びに通底している。と、歩みが止まる。身長差のあるふたりのあいだに「ぺこっ」。安心のからだにおじぎが生じる。「ばななさん」が歩いてくる。と、「ほにん」としりあう。「めろんさん」が歩いてくる。と、がっぷりと「ぎゅっ」。「だるまさん」が歩いてくる。と、背に乗った仲間の重みに「うーん」と踏ん張り、「ぱっ」と片足立ち。仲間の支えあいにはひらくからだ。ことばは、からだの息づかいである。



会場の様子：「はぁー」息づかいを感じる

子育てや仕事で頑張っている人の肩は、ときに怒り、凝っている。「寝によろ」と「腕によろ」（野口体操）のワークでは、強張りが緩み思わず顔がほころんだ。柔和なからだに子どもが寄ってくる。背や肩に乗ってくる子どもの重みが心地よく感じられるようになった。不思議である。

解けたからだの口が自然に開いて、吐く息が声になる。あなたを呼ぶ声に、あなたに触れているわたしが感じられる。「話しかけのレッスン」（竹内敏晴）のワークでは、声の通り道がみえてきた。

『だるまさんと』の表紙にかえてみよう。「いちごさん」と「だるまさん」が手をつないで、悠然と立っている。あたたかい息づかいを感じる。新たな一歩が始まろうとしているところなのだ。「おしまいのはじまり」。春木氏の声でワークショップは終わった。子どもたちが絵本にかけ寄って早速読み返していたのが印象的だった。あなたとわたしが絵本をひろげる。あたりまえの不思議をからだに感じた。

#### 引用文献

1) 「ミーテカフェインタビュー vol.19」<https://mi-te.kumon.ne.jp/contents/article/12-37/> [2019年12月25日確認]

(報告者：寺崎恵子 [てらさき・けいこ] 聖学院大学人文学部児童学科准教授)

# 本

## 書籍のご案内

お近くの書店、Amazon.co.jpからお買い求めいただけます。

### 健康科学 ヘルスプロモーション

和田雅史・齊藤理砂子 著

2016年2月29日発行  
2,500円 (税別)

人を取り巻く環境への働きかけをも目標とする「ヘルスプロモーション」に基づく健康科学を解説。



### 永遠の言葉

<キリスト教概論>

菊地 順 編著

2018年4月20日発行  
2,400円 (税別)

人生の糧となり、指針となり、救いへの招きとなる一冊。



### 魔女は真昼に夢を織る

松本祐子 著  
イラスト 佐竹美保

2016年12月10日発行  
2,300円 (税別)

創作ファンタジー 3作と物語の〈魔法〉をめぐる論考とコラム。  
☆Kindle版(2019.2)もあります。



### 人間としての尊厳を守るために

—国際人道支援と食のセーフティネットの構築

ヨハン・セルス  
チャールズ・E・マクジルトン 著

2012年5月25日発行  
700円 (税別)

人間の尊厳に向かう、「当事者」として活動する二人の講演。



聖学院大学出版会 TEL:048-725-9801 FAX:048-725-0324  
URL:<https://www.seigypress.jp>